

オロシティーニュース

No. 263

発行人 〒891-0123
鹿児島市卸本町 6 番地 12
鹿児島総合卸商業団地協同組合
理事長 小正芳史

TEL (099)260-2111
FAX (099)260-2109
(E-mail) info@orocity.or.jp
(URL) http://www.orocity.or.jp

組合理念

この地を愛し 共に繁栄

- 一、共に努力し助け合い相互に発展します
- 二、組合活動を通じて地域の活性化に貢献します
- 三、資産を有効活用し経営基盤の強化を目指します



第39回オロシティー夏まつり大会オープニングセレモニーの様子

～目次～

- | | | | |
|--------|-------------------------------------|--------|---|
| 1~2ページ | ・第39回オロシティー夏まつり大会開催 | 4~5ページ | ・第4回 青藍会勉強会 開催 |
| 2ページ | ・オロシティー代表者会及び金融機関
協力会&ゴルフコンペ | 5ページ | ・一から始める生成 AI 教室 開講
・令和7年度第1回目
いきいき健康講座 開講 |
| 3ページ | ・青藍会 創立総会 開催
・生成 AI セミナー「使い方講座編」 | 6ページ | ・全国卸商業団地企業年金基金よりご案内 |
| 3~4ページ | ・マルチテラス活性化事業
『ファミリーコンサート』開催 | 7ページ | ・事務局からのご案内
・組合行事予定
・編集後記 |

第39回オロシティー夏まつり大会開催

恒例の夏行事「オロシティー夏まつり大会」の第39回が8月2日(土)に開催された。本大会は『地域に密着した卸団地づくり』をコンセプトに、地域の活性化や地域貢献を目指すイベントとして毎年定着している。

今年は、物販販売ゾーンが31テント、飲食ゾーンが33テントの合計64テントとなった。ホール周囲の道路を歩行者天国として設けた物販販売ゾーンでは、組合員企業の商品が数多く並び、販売開始前からお得な品を求めて行列ができるほどの盛況ぶりであった。飲食ゾーンはホール周囲の駐車場に設置され、テーブルと椅子を配置。さらに展示場も開放し、屋内ステージを兼ねた涼しい飲食スペースとして利用された。



屋外会場の様子

オープニングセレモニーは17時45分から行われ、来賓と組合役員が登壇。大会実行委員長の玉利佳久副理事長の開会宣言に続き、大会会長である小正芳史理事長の挨拶、来賓祝辞、組合歌斉唱、協賛企業紹介と続き、恒例の「オロシティー夢音頭」では組合員や金融機関の踊り手が観客を巻き込みながら会場を盛り上げた。



玉利大会実行委員長による開会宣言

ステージイベントも屋内外で多彩に展開された。鹿児島信用金庫吹奏楽部の演奏は会場を力強い音色で包み、鹿児島女子高等学校校楽部の琴による演奏には大きな拍手が送られた。さらに、当組合員企業、(株)大阪屋の田中社長の音楽バンド演奏、ジュニアドラマによる昭和アイドルメドレー&ダンス、地域団体のダンススクールやチャリディングなど、多彩な演目が披露され、観客を魅了した。



M・T(株)大阪屋：田中社長)によるバンド演奏



鹿児島女子高等学校箏曲部による琴の演奏

今年も駐車場不足への対策として、創価学会鹿児島文化会館の協力を得て特設駐車場を設置。会場と駐車場間を結ぶシャトルバスが20分間隔で運行され、来場者の利便性向上に寄与した。また、卸本町公園内に自転車駐輪場を設けるなど、環境整備も進められた。

また、夏まつり大会と並行して、オロシティーホール第3展示場ではこの夏まつりに協力して頂いた関係先及び組合員を招いて納涼会が開催された。司会は当組合事務局の原田局長が務め、納涼会は来賓29名、組合員21名の合計50名が参加した。



納涼会会場の様子

当日は好天にも恵まれ、夕方には会場全体が多くの来場者で埋め尽くされる盛況ぶりとなった。夏の恒例行事として地域に根ざした「オロシティー夏まつり大会」は、

今年も大いに賑わいを見せ、地域交流の場として大きな役割を果たした



大盛況な物販ブース

オロシティー代表者会及び金融機関 協力会&ゴルフコンペ

令和7年6月4日(水)、鹿児島高牧カントリークラブにて、代表者会ならびに金融機関ゴルフコンペが開催された。コンペには組合員8名に加え、商工中金および地元金融機関から5名が参加。天候にも恵まれた絶好のゴルフ日和の中、参加者は親睦を深めながらプレーを楽しんだ。栄えある優勝は小正理事長が飾り、喜びのコメントを述べた。

同日18時30分からは、山形屋7階社交室において代表者会ならびに金融機関協力会が行われ、組合員29名、商工中金および地元金融機関から7名が参加した。

協力会は、当組合事務局の原田局長による開会宣言と組合理念唱和で幕を開け、小

正理事長の挨拶に続き、本年度の役員改選に伴う新理事の紹介と挨拶が行われた。懇親会は弓場副理事長の乾杯で始まり、和気あいあいとした雰囲気の中、各金融機関の参加者からも挨拶が寄せられた。終盤には恒例の組合歌を玉利佳久副理事長のリードで全員が斉唱し、記念撮影をもって盛會裏に終了した。



ゴルフコンペ参加者で記念撮影



協力会参加者で記念撮影

青藍会 創立総会 開催

令和7年6月10日(火)、オロシティーホール・マルチテラスにて青藍会の創立総会が開催された。冒頭、理念唱和が行われた後、小園洋平会長が「互いに学び合い、卸団地の発展につなげていけるような活動を重ねていきたい」と挨拶し、会の趣旨と今後への意気込みを語った。

続く議事では、設置規約、役員体制、令和7年度予算案について審議が行われ、いずれも承認された。また、今年度の視察研修について協議がなされ、場所と時期の検討を経て、10月に「協同組合ベイタウン尾道」への視察を実施することが決定した。その後、年間を通じた活動スケジュールも共有され、会員全体で方向性を確認した。本総会において役員体制が次のとおり発表された。

【会長】 小園 洋平 氏(株)小園硝子商会
 【副会長】 高井 章良 氏(株)タカイ
 新福 晴久 氏(株)しんぶく
 【幹事】 今別府 英之 氏(今別府産業(株))

現在、会員は15名を数え、この日の総会には11名が出席。活発な意見交換が行われ、会員同士の親睦を深める場ともなった。閉会にあたり、小園会長は「本会の活動を通じて、会員一人ひとりが成長し、さらには卸団地組合に貢献できる組織へと育てていきたい」と結び、総会は和やかな雰囲気の中で終了。青藍会の新たな一歩が力強く踏み出された。

生成AIセミナー「使い方講座編」



小園会長によるご挨拶

令和7年6月19日(木)、オロシティーホール・マルチテラスにて「生成AI活用術セミナー第2弾『使い方講座編』」を開催した。広報研修委員会(委員長・玉利佳久)の主催による本セミナーは、生成AIを実務に取り入れる具体的な方法を学ぶ機会として、21名の組合員が参加した。

講師には、株式会社ユルリカ代表取締役社長であり、鹿児島県DX推進アドバイザーも務める小田幸治氏を招いた。

今回のセミナーでは「AIは試してみたい段階から、使うことが当たり前の時代へ」との視点が強調され、業務の標準化(属人性排除)を進める中でAI活用が有効であることが説かれた。また「パソコン業務の6割はAIに代替可能で、人間は確認や承認に専念できる」との説明には、多くの参加者が強い関心を寄せていた。

また、セミナーでは実践形式として、参加者が実際にパソコンを操作しながら生成AIに触れる場面も設けられた。内容は、レシートの画像をAIに読み込ませて経理処理を自動化するという内容であった。参加者からは「少し難しかった」との声も聞かれた。

れたが、「面白い体験だった」「業務に役立ちそう」との感想も寄せられた。こうした実践を重ねることで、生成AIの持つ可能性をより広く業務に活かせることが期待される。



第2弾生成AIセミナーの様子

マルチテラス活性化事業『ファミリーコンサート』開催

令和7年6月21日(土)、「オロシティーホール・マルチテラス」をより多くの方に知ってもらい、利用を促進する「マルチテラス活性化事業」の一環として、ファミリーコンサートが開催された。

当日は、フルート演奏家である青野なほ先生を主体にピアニストの室屋麗華先生、チューバの石堂優二郎先生方プロの演奏家をはじめ、コンテストやコンクールで上位入賞をしている将来有望な小・中・高校生

が出演。ソロ、デュオ、トリオから全体合奏まで多彩な形態での演奏が繰り広げられ、子どもから大人まで楽しめるプログラムが展開された。

曲目には「私は夢に生きたい」「小さな世界」「ミッキーマウスマーチ」といった親しみやすい楽曲が並び、フルートやピアノの柔らかなソロ演奏、異なる楽器の掛け合いが楽しめるデュオやトリオのアンサンブル、迫力ある全員による合奏など、場面ごとに雰囲気の変化。ユーモアを交えた司会進行も相まって、会場は終始和やかな空気に包まれ、演奏のたびに大きな拍手が沸き起こった。



室屋先生、石堂先生、青野先生による演奏

また、赤ちゃん連れの来場者も安心して楽しめるようプレイマットスペースが設けられるなど、幅広い世代に配慮した運営も実施。会場は先着60名限定とあって事前申込の段階で満席となり、地域住民や卸団地関係者らでにぎわった。参加者からは「身

近な場所で本格的な演奏が聴けてうれしい」「子どもと一緒に音楽を楽しめた」といった声が多く寄せられた。

オロシティーホール・マルチテラスでは、今後音楽や文化を通じて交流の輪を広げる取り組みを計画しており、地域に開かれた場としてさらなる活用が期待されている。



出演者全員での合奏

第4回 青藍会勉強会 開催

令和7年8月18日(月)、第4回卸団地青藍会勉強会がオロシティーホール・マルチテラスで行われた。開会にあたり理念唱和が行われた後、小園会長が挨拶に立ち、「小正理事長の長年にわたる経営実践を直接伺えることは大変貴重な機会です。学んだことをそれぞれの事業に活かし、青藍会の活動をより実りあるものにしていきたい」

と語った。

講師には小正理事長を迎え、「我が社の会社経営」をテーマにご講演いただいた。これまでの経営の歩みや組織運営の工夫、厳しい経済環境を乗り越えてきた実践的な経験談が披露され、さらにイチロー氏の殿堂入りスピーチを引用しながら、熱意あふれる言葉が参加者の心に深く刻まれた。



講師の小正理事長

講演後の質疑応答では、「経営判断で大切にしていく基準は何か」など具体的な質問が次々と寄せられ、理事長は一つひとつ丁寧に回答。参加者にとって実務に直結する学びの時間となった。

勉強会を終えて、「普段なかなか聞くことのできない貴重な体験談に触れ、大変有意義であった」との声が多く聞かれた。この日は9名が参加し、アットホームな雰囲気の中で交流も深まり、会員相互のつながりが一層強まる機会となった。

今後も青藍会では、継続的に勉強会を実施し、会員の自己研鑽と交流の推進に努めていく。

一から始める生成AI教室 開講



小正理事長へ質問をしている青藍会メンバー

広報研修委員会（委員長・玉利佳久）の主催により、「一から始める生成AI教室」を新たにスタートさせた。これまで2回にわたり開催してきた生成AIセミナーの参加者の声を受け、より継続的で実践的な学びの場を設けることを目的とした取り組みである。

その第1弾として、8月26日（火）、オロシティーホール・マルチテラスにて講師に株式会社フォーエバーの久永忠範氏をお招きし、初心者を対象とした体験講座が開催された。

当日は ChatGPT や Gemini といった代表的な生成AIを実際に操作しながら学ぶスタイルで進められ、参加者は持参したパソコンを使い、講師から個別指導を受けつつ基本操作を体験した。

った基礎的な解説に加え、企業での活用事例や導入手順も紹介。実際に文章生成や簡単な業務効率化を試しながら、AIが持つ可能性を肌で感じる機会となった。参加者からは「初めてでも分かりやすかった」「これなら業務で使えそう」といった声が寄せられ、満足度の高い学びの場となった。

今回の教室は、段階的に難易度を上げていくシリーズの第1弾として位置付けられている。第2弾以降は応用編や実践的な内容に発展し、参加者が少しずつステップアップできる仕組みだ。

なお、第2弾生成AI教室は11月28日（金）に開催予定。より実践的な内容を扱う予定で、「多くの方に参加してほしい」と呼びかけている。



生成AI教室の様子



講師：㈱フォーエバー
久永 忠範 氏

令和7年9月5日（金）、オロシティーホール第4会議室にて、福利厚生委員会主催による令和7年度第1回いきいき健康講座が開催された。

「いきいき健康講座」は、鹿児島徳洲会病院の協力のもと、組合員を対象に健康に関するさまざまな知識や実践を学ぶことを目的として実施されている。今回の講座では、同病院の看護師・小倉悠太氏を講師に迎え、「腰痛予防・対策について」をテーマに行われた。

講座では、腰痛の基礎知識に関する解説の後、日常生活の中でできる腰痛予防の体操を、参加者が実際に体を動かしながら学ぶ実践的な内容となった。

腰痛は誰にでも起こりうる身近な症状であることから、講師からは「日頃から簡単な体操を習慣にすることが大切」とのアドバイスも伝えられた。



実際に体を動かしている様子

令和7年度第1回 いきいき健康講座 開講

退職金の積み立てに全国卸商業団地企業年金基金を活用してみませんか

全国卸商業団地企業年金基金は、全国の卸商業団地で働くみなさまの退職後の所得の充実を図る目的で設立された確定給付企業年金制度です。現在、約**640**事業所、**14,700**人のみなさまにご加入いただいています。

以下が当基金のメリットです。

①複数の事業主さまが共同して実施する確定給付企業年金です。

複数の事業主さまが共同して実施する制度のため、中小企業でも気軽に年金制度を導入できます。また、単独で実施するよりも、資産規模や運営コストでスケールメリットを享受することができます。

②掛金は全額損金に計上できます。

自前で退職金を積み立てる場合、毎年の積立金は、損金として認められませんが、当基金を活用することで、ご負担する掛金を全額損金に計上することができます。

③掛金は加入者毎に管理し、毎年1.5%の複利で積み立てています。

当基金は、将来の給付財源を事前に積み立て、加入者毎に個人勘定で管理しています。このため、発生した給付に見合う掛金を必要とする国の年金制度と異なり、加入者数の増減による影響を受けません。また、掛金は、毎年1.5%の複利で積み立てていますので、計画的に退職金を積み立てることができます。

④退職金の積み立てにコストが軽減できます。

退職金規程に、規定する退職金総額に当基金から受け取る年金や一時金を含む旨を定めれば、利息相当額分の退職給付コストを圧縮することができます。



※加入期間中の昇給の状況により一時金の額は変動します。基金の財政状況が大きく悪化した場合、追加の掛金をご負担いただくことがあります。事務費掛金は、30年間累計で216,000円(年間平均7,200円)ご負担いただきます。

※新規加入年度の翌々年度まで事務費掛金が半額です。

パンフレットはこちら



ご加入・お問合せは「**全国卸商業団地企業年金基金**」まで

東京都港区赤坂 5-1-31 ☎ 03-3560-7017

事務局からお知らせ

第11回オロシティー社員交流会

令和7年9月26日（金）、福利厚生委員会主催の第11回オロシティー社員交流会を開催いたしました。オロシティーホール初の開催となりましたがいかがだったでしょうか。ご意見等ございましたら遠慮なくお申し付けください。次回はよりよい交流会に努めてまいります。



2025 オロシティー秋のバーベキューバスツアー

令和7年10月12日（日）、福利厚生委員会主催の2025 オロシティー秋のバーベキューバスツアーを開催いたします。今年度も、昨年度好評だったアリランミートマルシェにて屋外バーベキューを予定しております。その他、観光や買い物

予定しておりますので、組合員企業の従業員とご家族でのご参加を心よりお待ちしております。



組合同行事予定

- 【令和7年9月】
 - 18日 ・ 第2部会 例会及び懇親会
 - 22日 ・ 第1部会 例会及び懇親会
 - 26日 ・ オロシティー社員交流会
 - 30日 ・ 新規事業プロジェクト会議
- 【令和7年10月】
 - 10日 ・ 青藍会 ベイタウン尾道視察
 - 12日 ・ オロシティー秋のバスツアー
- 【令和7年11月】
 - 5日 ・ 長崎卸センターご来局

編集後記

263号をご覧いただきありがとうございます。ございました。

第39回オロシティー夏まつり大会や生成AI教室の開講など、交流と学びの輪が広がる様子をお届けできたことを嬉しく思います。生成AI研修は参加者の関心も高く、今後の業務や発想の場での活用が期待されます。

また、夏まつりやコンサートを通じ、人が集まる力の大きさを改めて感じました。これからも地域とのつながりを大切に活動続けてまいります。季節の変わり目、皆さまのご健勝をお祈り申し上げます。

広報研修委員会 委員長 玉利 佳久

21日 ・ 熊本卸団地青年部ご来局

25日 ・ 秋の代表者ゴルフ会及び秋の代表者交流会

28日 ・ 第2回生成AI教室（予定）

【令和7年12月】
13日 ・ オロシティークリスマスパーティー